

この先生に教わりたい!

長

崎大学には教科書を執筆した先生もいます。『はじめて学ぶ生命科学の基礎』(化学同人)は六名の研究者が執筆しており、その中心となったのが畠山智充教授です。

「生命科学の基礎教育で一年生に教えるのにちょうどいい教科書を探していました。難しく専門的だったり取扱い範囲が広すぎたり、一年前期から分厚くて価格の高い本も厳しい。どうしたものかと思っていたところ、出版社から声をかけられました」。

タンパク質科学を専門とする先生のシラバスが編集者の目に留まったことがきっかけでした。

「皆さんと一年がかりで取り組んだのですが、意識したのはタンパク質や糖質などの分子の構造や機能などの基本に始まり、細胞の増殖や進化の話まで、分子レベルから細胞・個体レベルにスケールアップする一貫した流れです。この本は長崎大学はもちろん、他大学でも使われているそうです」。

近年、生物だけではなく化学や物理を十分に理解していない新入生も多いといえます。

「だいたいようぶ、原子や分子の基本的な概念さえつかめれば、代謝や遺伝など体のなかで起きているさまざまな現象を理解することができます。化学物質工学コースは、材料工学科と応用化学科が一緒になった珍しいコー

わかりやすい教科書を自作



編集部推薦コメント

生命科学の教科書を自ら執筆・編集。初めて生物を学ぶ初年次生にも基礎から学問の壮大さまで教授することで定評。オーケストラのバイオリニストという意外な一面も。



愛用のバイオリンとともに。現在、長崎大学管弦楽団や県内の市民オーケストラに参加しています。

PROFESSORS OF NAGASAKI UNIVERSITY

手に持っているのが先生が中心となって執筆した生命科学の教科書。



「『スター・ウォーズ』のオーケストラ演奏も、劇場で聴くといいものですよ」。

好きな作曲家はバッハとモーツァルト。「『スター・ウォーズ』のオーケストラ演奏も、劇場で聴くといいものですよ」。

「子どもたちからバイオリンを習っていました。本格的にやり始めたのは九大フィルハーモニー・オーケストラに入ってから。何十人も演奏者が集まると一つの曲を表現していくのは素晴らしい経験ですが、出だし一つ間違えればとんでもないことにもなります。緊張感のなかで表現力も鍛えられます」。

ところで畠山先生にはオーケストラのバイオリニストというもう一つの顔があります。

大学院工学研究科物質科学部門

畠山智充

教授

【講義】

生命科学(工学1年)/生化学(工学2、3年)/有機生命実験(工学3年)ほか

はたけやまともみつ
九州大学農学部農芸化学卒業。同大学院農学研究科農芸化学博士課程単位取得退学。博士(農学)。九州大学助手を経て、1996年長崎大学に赴任。2005年より現職。